

研究課題名「内境界膜剥離併用硝子体手術の視野感度への影響」に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年1月1日～2019年12月31日に黄斑下出血のため当院を受診された方

2. 研究目的・方法・研究期間

黄斑下出血の原因として代表的な疾患に加齢黄斑変性と網膜血管瘤があります。以前我々の施設では、1998年から2005年に受診された患者さんの中で加齢黄斑変性に伴う黄斑下出血の発生日と平均気温を調査し、この疾患の発生日が冬に多いことを研究発表しました。本研究では、臨床記録より、2012年1月1日から2019年12月31日までに黄斑下出血のため当院を受診された患者さんを対象に、以前と同様に発生日と平均気温を確認し、病気の発生日に季節性の周期があるか確認します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床記録より、2012年1月1日から2019年12月31日までに黄斑下出血のため当院を受診された患者さんの年齢、性別、現病歴、既往歴、血圧を表にまとめ、病気の発生日に季節性の周期があるか検証します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院眼科 兼子裕規（研究責任者）

電話 052-744-2111（代表）

ファックス 052-744-2278

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院眼科 兼子裕規